



2020年12月11日

各位

会社名 株式会社 C & G システムズ  
代表者名 代表取締役社長 塩田 聖一  
(コード：6633 東証第二部)  
問合せ先 取締役管理統括部長 小島 利幸  
(TEL. 03-6864-0777)

## 通期連結業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

2020年8月7日に未定として公表しました通期(2020年1月1日～2020年12月31日)連結業績予想および配当予想について、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想の修正について

##### (1) 2020年12月期通期連結業績予想の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回発表予想(B)	3,669	164	142	61	6.46円
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2019年12月期通期)	4,197	309	329	181	18.66円

##### (2) 通期連結業績予想数値の修正の理由

第2四半期決算発表時において新型コロナウイルス感染拡大が収束せず、その後も合理的な業績予想の算定が困難な状況にあったため、通期連結業績予想を未定としていましたが、現時点で入手可能な情報に基づき算定し、修正するものです。

当社グループの連結業績は、1-3月期はほぼ新型コロナウイルスの影響を受けず堅調に推移していたものの、その後の感染拡大の影響により当社グループの主要顧客である製造業の設備投資意欲は減退、また4-6月期において営業活動の制限を余儀なくされ業績は低調に推移しました。7-9月期は外出自粛解除によりコロナ禍前に近い形の営業活動を可能な範囲で再開し、前四半期比では売上高・利益ともに若干回復いたしました。しかしながら長引くコロナ禍により先行き不透明な状況が継続していることから、製造業の設備投資意欲は依然として低調に推移しており、そのため10-12月期の業績についても厳しくなるものと想定しています。

これらの結果、通期連結業績予想は前年同期比で売上高△12.6%、営業利益ベースで△47.0%の大幅減収減益見込みとなりました。

## 2. 配当予想の修正について

### (1) 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2020年8月7日)	円 銭 —	円 銭 未定	円 銭 未定
今回予想	—	7.00	7.00
当期実績	0.00		
前期実績 (2019年12月期)	0.00	10.00	10.00

### (2) 配当予想修正の理由

当社は、剰余金の配当等を取締役会の決議により行う旨を定款に定めており、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要な政策として位置付けております。また、利益配分については、企業体質の強化と将来の事業展開のための内部留保の充実を図るとともに、安定した配当を行うことを基本方針とし、各期の財務状況、期間損益、配当性向等を総合的に勘案して決定しております。

当期の期末配当予想につきましては、通期連結業績予想が大幅減収減益予想であることから、誠に遺憾ではありますが前期実績では1株当たり10円であった期末配当を1株当たり7円の減配予想とさせていただきます。なお当期においては、株主の皆様の日頃のご支援および当社事業へのご期待等を総合的に勘案し、減配予想となるものの、親会社株主に帰属する当期純利益の全額を利益還元させていただく所存です。

※上記予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって変動する可能性があります。

以 上